

モッチョム農園

<基本情報>

所在地：鹿児島県屋久島町

<農場概要>

- 有機 J A S 認証圃場面積：12 h a（1枚の圃場面積10 a 程度）
- ばれいしょ 3 h a、かんしょ 2 h a、ウコン 2 h a
- ウコンは、粉末に加工し販売（有機加工 J A S 認証を取得）

集落の象徴ともいえる美しい山「モッチョム岳」。

農園の名前にも、お借りしています。



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 慣行栽培のばれいしょの価格が半値に下がった時期に、知人が栽培する有機栽培のばれいしょの価格は、下がらず取引されていた。このことから、経営の安定を図るため有機農業を始めようと決意。
- **平成15年（2003年）に有機 J A S 認証を取得。**

<販売について>

- 販売する全商品が有機 J A S 認証品。うち、約 9 割をかごしま有機生産組合へ出荷。
- 付加価値を付け収益向上を図るため、ウコンの粉末加工場を平成29年に整備し、**平成30年に有機加工食品 J A S 認証を取得。**
- 現在は、生ウコンと粉末の 2 パターンで販売しているが、令和 2 年度からは、粉末加工を主として販売予定。



<病虫害対策・除草対策・土づくり>

- 病虫害対策
ばれいしょは、疫病対策として、石灰ボルドーを使用
かんしょは、10倍希釈の食酢を使用。
- 雑草対策
ばれいしょは、2回の培土（土寄せ）で効果あり。
かんしょは、畦間を 1 m に設定し通行可能な小型トラクターによる除草を行うことで、労力軽減及び作業時間の短縮を図る。
- 土づくり
全品目で鶏糞を主に使用する他、雑草をすきこみ緑肥として活用。圃場は 3 年に 1 回の輪作（ばれいしょの後に、かんしょとウコンの作付）とし、12 h a のうち 3 分の 1 程度の圃場は、可能な限り 2 年間休ませる方法をとっている。その間、雑草を繁茂させ緑肥等にするなど、自然の力を活かした地力回復を実施。

<苦労しているところ>

- 圃場 1 枚の面積が 10 a 程度と小さく、作業効率が非常に悪いこと。

<今後の対応>

- 新しい品目として、モリンガ（薬用作物の一種）の栽培を考えており、今後研究を重ね、将来的には加工場を活かし付加価値を付けた販売につなげて行きたい。



【お問合せ先】モッチョム農園 代表 亀沢政親
TEL.0997-47-3006